

# 原発のない未来のために

## あなたはどの政党を選択しますか。

2011年3月、東日本大震災と共に起きた福島第一原子力発電所の事故は、この国に大きな被害をもたらしました。東日本の広大な地域に放射性物質が降り注ぎ、16万人もの人々が避難生活を余儀なくされました。

その他の地域でも、生活環境や食品が汚染され、多くの国民が健康への不安を感じています。

また、日本列島は地震の活動期に入ったとみられており、新たな大震災の可能性も警告されています。

それにもかかわらず、全国の原発では、十分な安全対策がなされていません。これまで原発を推進してきた原子力委員会でさえ、「安易な原発の再稼働により、今後10年以内に再び過酷事故を起こす」という衝撃的な試算を発表しています。

現在日本では、市民の強い反対の声を受けて、原発は50基中、たった2基しか稼働していません。日本は原発がなくてもやっていけるのです。次の国政選挙を前にして、政権党である民主党をはじめ、ほとんどの政党が、日本は今後「脱原発」に向かうべきだと、言葉では表明しています。しかし、各党の具体的な政策を見てみると、多くの政党は、本気で「脱原発」を行う意志があるようには見えません。

日本から原発をなくすために、私たち有権者はどの政党に未来を託せばいいのでしょうか。

この一覧を参考にして、しっかりと各政党の姿勢を見極めてください。

### 脱原発

**✓ 共産党**  
即時原発ゼロ

- 停止中の原発の再稼働はしない。
- 稼働中の大飯原発は停止。
- すべての原発を停止させたまま廃炉。
- 核燃料サイクル政策を廃止。

**✓ 社民党**  
2020年までに原発ゼロ

- 老朽化した危険な原子炉から順次廃炉。
- 原発の再稼働には反対。
- 核燃料サイクル計画は停止。

【凡例】

- = 脱原発
- = 段階的脱原発
- △ = 原発維持に近い脱原発
- × = 原発維持/推進

**✓ 反TPP・脱原発・消費増税凍結を実現する党**  
タイムスケジュールをたてて原発ゼロへ

- タイムスケジュールをたてて官民総力をあげて原発ゼロに向けて取り組む。
- 原発の再稼働は認めない。
- 新増設は認めない。
- 核燃料サイクル政策を廃止。

**✓ みどりの風**  
原発ゼロ社会の実現

- 谷岡郁子共同代表は「事故が収束していないのに再稼働を決めたのは世界や歴史に対する恥。国民生活を根底から覆す原発はなくすべき」と発言。

**✓ 新党日本**  
廃炉こそ立派な公共事業

- 10年以内に全ての原発を廃炉に。
- 原発の再稼働は認めない。
- 新増設は認めない。
- 核燃料サイクル=プルサーマル計画を廃止。

**✓ 国民の生活が第一**  
エネルギー政策の大転換

- 10年後をめどにすべての原発を廃止。
- 原発の再稼働は原則として認めない。
- 「原発ゼロ」に向けた積極投資。

**✓ みんなの党**  
2015年~2020年に原発は市場淘汰

- △ 2015年~2020年に、発送電分離や電力小売り自由化などで、コストが高く安全でもない原発は市場淘汰。
- 新設・増設は行わない。
- 核燃料サイクル計画の凍結。

**✓ 民主党**  
2030年代に原発稼働ゼロ

- × ただし野田内閣はこの方針を閣議決定せず。
- × 核燃料サイクルは維持。
- △ 原子力規制委員会の安全確認を得た原発は再稼働。
- △ 新設・増設は行わないとしながらも、建設中の大間原発、島根原発については容認。

**✓ 新党大地・真民主**  
反原発の推進

- 鈴木宗男代表は「大地にかえり、大地に学ぶ。反原発の立場だ」と発言。
- 反原発の推進。代替エネルギーで原発ゼロへ。

**✓ 減税日本**  
「原発リスクのない日本」を産業立地面での強みに

- △ 脱原発により再生可能エネルギー・石炭・LNG等の技術開発を促進。
- △ 日本維新の会と政策を「大同小異」として合流を試みるも暗礁に乗り上げている。

**✓ 新党改革**  
原発に依存しない社会の構築

- △ 舛添要一代表は「将来的には脱原発をもちろん考える」としながらも、「原発の安全基準をさらに厳しくすることが最低限必要」と発言。

**✓ 自民党**  
責任を持って原発を再稼働させる

- △ 原発再稼働の是非については3年以内の結論を目指す。
- △ 脱原発には言及せず、10年以内に結論を出す。
- × 総裁選候補5人全員が「最終的な原発ゼロ」に反対。
- × 元経済産業大臣として原発を推進してきた甘利明氏が政調会長に就任。
- × 安倍総理は「民主党の原発ゼロ方針は無責任」「原発比率は下げたが30年代にゼロはなし」「責任を持って原発を再稼働させる」と発言。

**✓ 日本維新の会**  
原発の安全基準などのルール構築

- × 橋下徹大阪市長は、当初大飯原発の再稼働に反対していたが、一転して容認。
- × 太陽の党と合流後は脱原発に言及せず。
- × 石原慎太郎代表は「原発ゼロはただのセンチメント」、「開発した技術体系を放り出すのはおろかだ」と発言。

**✓ 公明党**  
遅くとも40年後に原発ゼロ

- △ 少なくとも2030年までに3分の2の原発を停止し廃炉。遅くとも40年後に原発ゼロへ。
- △ 原発の新規着工は認めない。40年運転制限を厳格に適用。
- 高速増殖炉もんじゅは廃止。
- △ 新たな安全基準による原発の再稼働は認める。

**✓ 国民新党**  
中長期的な「脱原発依存」

- × 野田内閣の「2030年代原発ゼロ」方針にさえ反対。

### 原発推進

2012年11月20日現在

脱原発「あなたの選択」プロジェクトについての詳細は、こちらのページでご確認ください。

脱原発「あなたの選択」プロジェクト [http://coalitionagainstnukes.jp/?page\\_id=1855](http://coalitionagainstnukes.jp/?page_id=1855)

首都圏反原発連合 <http://coalitionagainstnukes.jp/> お問い合わせ [info@coalitionagainstnukes.jp](mailto:info@coalitionagainstnukes.jp)

※公職選挙法に関する注意事項 12月4日の衆院選の公示日以降は、投票日まで屋外に選挙に影響するポスター等を貼ると、公職選挙法に触れる場合があります。／公示日以降は投票日まで、フライヤーを不特定多数に配布すると、公職選挙法に触れる場合があります。／公示日以降も店内や室内にポスターを貼ったり、友人や知人、デモ仲間へ個人的に渡すことはできます。

# 首都圏反原発連合 反原発抗議&デモ予定

# 12月

**投票にも、抗議にも行こう。 いますぐ原発0に!**

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4 自民党本部前 抗議 18:30-20:00 衆院選公示	5	6	7 官邸前・国会 議事堂周辺抗議 18:00-20:00	8
9	10	11	12	13	14 官邸前・国会 議事堂周辺抗議 18:00-20:00	15 Nuclear Free Now 脱原発世界会議2 デモ 脱原発世界大行進2
16 Nuclear Free Now 脱原発世界会議2 衆院選投票日 東京都知事選投票日	17	18	19	20	21 官邸前・国会 議事堂周辺抗議 18:00-20:00	22 日比谷公園
23	24	25 経団連会館前 抗議 18:00-20:00	26	27	28 官邸前・国会 議事堂周辺抗議 18:00-20:00	29
30	31				今年最後	

## ⚠️ ご参加のみなさまへ

- ※反原発・脱原発というテーマと関係のない特定の政治的テーマに関する旗やのぼり、プラカード等  
はご遠慮ください。
- ※現場が混雑している場合、ビラ配布や署名集め等は抗議時間中にご遠慮ください。
- ※首都圏反原発連合の抗議行動は、あくまで非暴力直接行動として呼びかけられたものです。その  
趣旨を十分にご理解いただきご参加いただけますよう、よろしくお願いいたします。
- ※歩道の移動スペース確保にご協力をお願いします。

## 「選挙キャンペーンポスター」配布への カンパご協力をお願いします。

- ※通信欄に「ポスターカンパ」とご記入ください。
- ゆうちょ銀行(郵便局)からの場合**  
[口座名称] 首都圏反原発連合  
[記号番号] 00170-1-291074
- 他銀行からの場合**  
[口座名称] 首都圏反原発連合  
[店名] 〇一九(019)店 [預金種目] 当座  
[記号番号] 0291074

呼びかけ **首都圏反原発連合**

<http://coalitionagainstnukes.jp/> <http://twitter.com/MCANjp> [info@coalitionagainstnukes.jp](mailto:info@coalitionagainstnukes.jp)

